

沖縄平和行進に参加して

全港湾関東地方横浜支部日本高速分会 澤本剛直

日本でありながら 27 年間アメリカの統治であった沖縄県は 2026 年 5 月 15 日、返還され 54 年目を迎えました。今回、初めて沖縄平和行進に参加し、当時の悲惨さや、54 年の歳月を経てもなお残る沖縄の方々の苦勞を知ることができました。当時、戦争を経験した方のお話では、今でも米軍基地からの爆音が轟くと、戦争時を思い出し心身に支障をきたす生活をせざるを得ないがわかりました。また、米軍基地周辺の小学校では戦闘機の爆音で授業を止めざるを得ない時があり、子供たちの教育の妨げになっていると知りました。私が行進している中でも、実際に戦闘機が 2 機、耳を塞ぎたくなる程の爆音と共に通過する場面があり、戦争を知らない私でさえ、戦闘機の近さと音に恐怖を感じました。戦争を経験した県民の方々の恐怖を思うといたたまれない気持ちになります。また、各資料館では戦争の悲惨さを改めて痛感しました。飢え死にした子供、火炎放射器で焼かれた人、どれも見るに堪えがたい写真ばかりで胸が苦しくなりました。沖縄県は返還されましたが日本における米軍基地は、今もなお沖縄県に 70% も集中しています。これは本当の返還なのでしょうか。日本の領土とはいえ、まだまだアメリカの支配下にあるのではないかと感じます。米軍基地撤廃を求めると共に、戦争が繰り返されないように、平和の大切さを伝えていきたいです。